

# 2022年12月期 第2四半期 決算説明資料



昭和電工株式会社

2022年8月4日

取締役 常務執行役員 CFO

染宮 秀樹

- ① 上期業績は、円安の進行、半導体・電子材料セグメントの好調継続に加え、  
原材料価格上昇分について一定の価格転嫁を実現。しかし、自動車生産の伸び悩みや  
前年度の事業譲渡の影響もあり、前年同期から売上高は373億円の減収、  
前年同期の黒鉛電極低価法戻入益の剥落もあり、営業利益は105億円の減益  
※継続事業ベースでは657億円の増収、24億円の減益
- ② 通期業績予想は、円安の進行や自動車生産の回復遅れ、原材料価格の更なる高騰等  
を反映し、期初見通しから売上高は1,500億円の増収も、営業利益840億円は据え置き
- ③ 法人格統合を来年に控え、劣後ローンによる優先株式 2,750億円の早期買取を実施

# 連結業績の概要（前年同期対比）

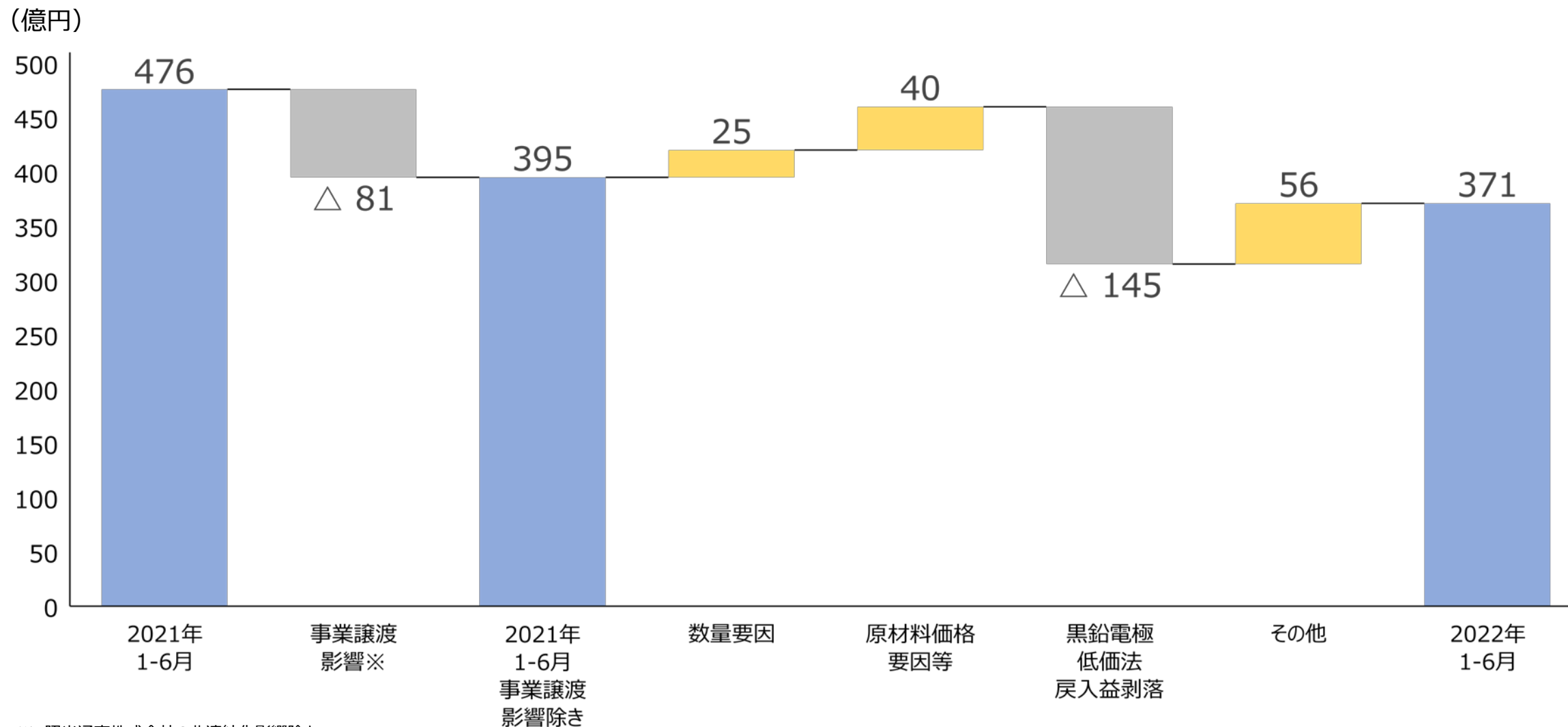


項目	(億円)		
	2021年 1-6月	2022年 1-6月	増減
売上高	6,934	6,560	△ 373
営業利益	476	371	△ 105
営業外損益	26	98	71
経常利益	502	468	△ 34
特別損益	△ 504	△ 28	476
税金等調整前四半期純利益	△ 2	441	442
四半期純利益	△ 58	375	433
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 134	317	451
EBITDA（営業利益+減価償却費+のれん等償却費）	1,063	910	△ 152
対売上EBITDA%	15.3%	13.9%	△ 1.5p

	(参考) 継続事業ベース (億円)		
	2021年 1-6月*	2022年 1-6月	増減
売上高	5,904	6,560	657
営業利益	395	371	△ 24
EBITDA	928	910	△ 18
対売上 EBITDA%	15.7%	13.9%	△ 1.8p

※ 2021年に事業譲渡したアルミ缶・圧延品、食品包装用ラップ、プリント配線板、蓄電デバイスを除いた参考値(監査対象外)

# 連結営業利益差異内訳 (前年同期対比)



※ 昭光通商株式会社の非連結化影響除き

# セグメント※別売上高・営業利益 (前年同期対比)



(億円)

セグメント		2021年 1-6月	2022年 1-6月	増減	増減率
半導体・電子材料	売上高	1,962	2,204	241	12%
	営業利益	212	268	56	27%
モビリティ	売上高	896	867	△ 29	△ 3%
	営業利益	10	△ 12	△ 22	-
イノベーション材料	売上高	656	700	44	7%
	営業利益	83	54	△ 29	△ 35%
ケミカル	売上高	1,913	2,245	332	17%
	営業利益	193	131	△ 62	△ 32%
その他・調整額	売上高	1,506	545	△ 962	△ 64%
	営業利益	△ 21	△ 70	△ 49	-
合計	売上高	6,934	6,560	△ 373	△ 5%
	営業利益	476	371	△ 105	△ 22%

※ 今年度より開示セグメントを変更している。詳細はP14参照

# セグメント別売上高・営業利益（半導体・電子材料）（前年同期対比）



(億円)

項目	2021年 1-6月	2022年 1-6月	増減	増減率	業績概況
売上高	1,962	2,204	241	12%	前年に実施したプリント配線板事業の譲渡や原材料価格高騰等の影響を受けたものの、引き続き旺盛な需要を背景に、半導体材料、HDメディア、SiCエピウエハーが増収となり、増収増益 ・半導体前工程材料：旺盛な半導体需要を背景に、電子材料用高純度ガス、CMPスラリーともに増収 ・半導体後工程材料：旺盛な半導体需要を背景に、ダイボンディング材料や銅張積層板などが好調に推移し、増収 ・デバイスソリューション：HDメディアはデータセンター向け需要堅調、SiCエピウエハーも出荷数量増で大幅に増収
半導体前工程材料	377	479	101	27%	
半導体後工程材料	887	981	94	11%	
デバイスソリューション	386	570	184	48%	
その他	312	174	△ 138	△ 44%	
営業利益	212	268	56	27%	

〔主要製品〕

- ・半導体前工程材料：電子材料用高純度ガス、半導体回路平坦化用研磨材料(CMPスラリー)
- ・半導体後工程材料：エポキシ封止材、ダイボンディング材料、銅張積層板、感光性フィルム、感光性ソルダーレジスト
- ・デバイスソリューション：HDメディア、SiCエピタキシャルウエハー、化合物半導体(LED)

# セグメント別売上高・営業利益（モビリティ）（前年同期対比）



(億円)

項目	2021年 1-6月	2022年 1-6月	増減	増減率	業績概況
売上高	896	867	△ 29	△ 3%	半導体供給不足及びCOVID-19感染拡大による上海ロックダウン等により自動車生産台数が伸び悩み減収。さらに原材料価格高騰等や、のれん及び無形資産の償却費もあり、営業赤字 ・自動車部品：自動車生産台数が伸び悩む中、粉末冶金製品が減収となったものの、樹脂成形品・摩擦材は増収 ・リチウムイオン電池材料：正負極用導電助剤は増収となったものの、カーボン負極材、アルミラミネートフィルム(SPALF®) が減収
自動車部品	681	693	12	2%	
リチウムイオン電池材料	200	166	△ 34	△ 17%	
その他	15	8	△ 7	△ 48%	
営業利益	10	△ 12	△ 22	—	

〔主要製品〕

- ・自動車部品：樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品
- ・リチウムイオン電池材料：アルミラミネートフィルム（SPALF®）、正負極用導電助剤、カーボン負極材

# セグメント別売上高・営業利益（イノベーション材料・ケミカル）（前年同期対比）



(億円)

項目		2021年 1-6月	2022年 1-6月	増減	増減率	業績概況
イノベーション 材料	売上高	656	700	44	7%	原材料価格高騰に伴う製品価格上昇もあり、アルミ機能部材・機能性化学品などが増収も、価格転嫁のタイムラグ等の影響により減益
	営業利益	83	54	△ 29	△ 35%	
ケミカル	売上高	1,913	2,245	332	17%	・石油化学：4年に一度の大型定修を実施。ナフサ価格高騰による価格上昇で増収も、定修に伴う数量減により減益 ・化学品：原燃料価格高騰に伴う製品価格上昇もあり増収も、価格転嫁のタイムラグ等の影響により減益 ・黒鉛電極：数量増、価格上昇により増収増益
	石油化学	1,238	1,325	87	7%	
	化学品	320	372	52	16%	
	黒鉛電極	355	546	192	54%	
	その他	0	1	1	-	
	営業利益	193	131	△ 62	△ 32%	

〔主要製品〕

- ・イノベーション材料：機能性化学品、機能性樹脂、コーティング材料、セラミックス、アルミ機能部材
- ・石油化学：オレフィン、有機化学品
- ・化学品：産業ガス、基礎化学品



# 営業外損益、特別損益（前年同期対比）

## 営業外損益内訳

(億円)

項目	2021年 1-6月	2022年 1-6月	増減	主な増減要因
金融収支	△ 39	△ 33	6	支払利息減少
持分法投資損益	30	23	△ 7	
為替差益	42	125	83	
その他	△ 6	△ 17	△ 11	
営業外損益 計	26	98	71	

## 特別損益内訳

(億円)

項目	2021年 1-6月	2022年 1-6月	増減	発生要因
投資有価証券売却益	13	19	6	
事業譲渡益	81	-	△ 81	
固定資産除売却損	△ 13	△ 18	△ 6	
事業構造改善費用	△ 328	-	328	
その他	△ 258	△ 29	229	
特別損益 計	△ 504	△ 28	476	

# 2022年通期業績予想



	2022年通期予想		増減	2021年 通期実績	(参考) 継続事業ベース <sup>※3</sup>			
	期初 <sup>※1</sup>	今回 <sup>※2</sup>			2021年 通期実績	2022年 通期予想 <sup>※2</sup>	増減	
売上高	13,500	15,000	1,500	14,196	売上高	12,593	15,000	2,407
営業利益	840	840	-	872	営業利益	737	840	103
営業外損益	△ 50	10	60	△ 3	EBITDA	1,834	1,936	102
経常利益	790	850	60	869	対売上 EBITDA%	14.6%	12.9%	△ 1.7p
特別損益	△ 240	△ 300	△ 60	△ 639				
親会社株主に帰属する 当期純利益	270	320	50	△ 121				
EBITDA <sup>※4</sup>	1,937	1,936	△ 2	2,026				
対売上EBITDA%	14.4%	12.9%	△ 1.4p	14.3%				
ROIC <sup>※5</sup>	4.8%	4.3%	△ 0.5p	4.3%				
1株当たり当期純利益	149円11銭	176円69銭	27円58銭	△ 77円40銭				
1株当たり期末配当金	65円	65円	-	65円				

※1 2022年2月14日公表 ※2 2022年8月3日公表

※3 2021年に事業譲渡したアルミ缶・圧延品、食品包装用ラップ、  
プリント配線板、蓄電デバイスを除いた参考値(監査対象外)

※4 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん等償却費

※5 ROIC=(営業利益+持分法投資損益-法人税等) / (有利子負債+純資産)

# 2022年セグメント別売上高・営業利益予想



(億円)

セグメント	2022年通期予想		増減	2022年		2021年 通期実績※3	
	期初※1	今回※2		上期実績	下期予想※2		
半導体・ 電子材料	売上高	4,300	4,700	400	2,204	2,496	3,918
	営業利益	530	600	70	268	332	469
	EBITDA	1,051	1,118	67	530	588	985
モビリティ	売上高	1,900	1,800	△ 100	867	933	1,738
	営業利益	60	△ 30	△ 90	△ 12	△ 18	△ 20
	EBITDA	247	158	△ 88	89	69	186
イノベーション 材料	売上高	1,400	1,500	100	700	800	1,413
	営業利益	130	120	△ 10	54	66	138
	EBITDA	217	204	△ 12	100	105	224
ケミカル	売上高	4,800	5,800	1,000	2,245	3,555	4,310
	営業利益	340	360	20	131	229	379
	EBITDA	508	531	23	215	315	541
その他・ 調整額	売上高	1,100	1,200	100	545	655	1,214
	営業利益	△ 220	△ 210	10	△ 70	△ 140	△ 229
	EBITDA	△ 84	△ 75	8	△ 24	△ 51	△ 103
合計	売上高	13,500	15,000	1,500	6,560	8,440	12,593
	営業利益	840	840	-	371	469	737
	EBITDA	1,937	1,936	△ 2	910	1,025	1,834

※1 2022年2月14日公表 ※2 2022年8月4日公表

※3 継続事業ベース(2021年に事業譲渡したアルミ缶・圧延品、食品包装用ラップ、プリント配線板、蓄電デバイスを除いた参考値(監査対象外))

# 連結財政状態



## 連結貸借対照表

(億円)

資産	2021年 12月末	2022年 6月末	増減	負債・純資産	2021年 12月末	2022年 6月末	増減
現預金	2,362	2,229	△ 133	営業債務	2,077	2,204	127
営業債権	2,786	2,935	149	有利子負債	8,506	11,400	2,894
たな卸資産	2,039	2,560	521	その他	2,656	2,659	3
その他	798	854	56	<b>負債計</b>	<b>13,239</b>	<b>16,264</b>	<b>3,024</b>
<b>流動資産計</b>	<b>7,985</b>	<b>8,578</b>	<b>593</b>	<b>株主資本計</b>	4,336	4,420	84
有形固定資産計	6,595	7,014	419	(内、利益剰余金)	1,433	1,633	199
のれん	3,118	3,038	△ 80	その他の包括利益累計額計	804	1,293	489
その他無形固定資産	2,107	2,037	△ 70	(内、その他有証評価差額金)	28	20	△ 9
無形固定資産計	5,225	5,075	△ 150	(内、為替換算調整勘定)	384	899	514
投資その他の資産計	1,618	1,552	△ 66	非支配株主持分	3,045	243	△ 2,802
<b>固定資産計</b>	<b>13,439</b>	<b>13,642</b>	<b>203</b>	<b>純資産計</b>	<b>8,185</b>	<b>5,956</b>	<b>△ 2,228</b>
<b>資産合計</b>	<b>21,424</b>	<b>22,220</b>	<b>796</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>21,424</b>	<b>22,220</b>	<b>796</b>

## 主要指標

ネットD/Eレシオ(倍) <sup>※1</sup>	1.15	1.10	△0.05p	自己資本比率 (%) <sup>※2</sup>	24.0	25.7	1.7p
----------------------------	------	------	--------	--------------------------	------	------	------

※1 '21/12末: {(借入金+コマーシャルペーパー+社債+リース債務) - 現金及び預金 + 優先株×50%} / (自己資本+優先株×50%)

※2 (純資産計-非支配株主持分) / 負債・純資産合計) ×100

'22/6末: {(借入金+コマーシャルペーパー+社債+リース債務) - 現金及び預金 - 劣後ローン(借入金に含まれる)×50%} / (自己資本+劣後ローン×50%)

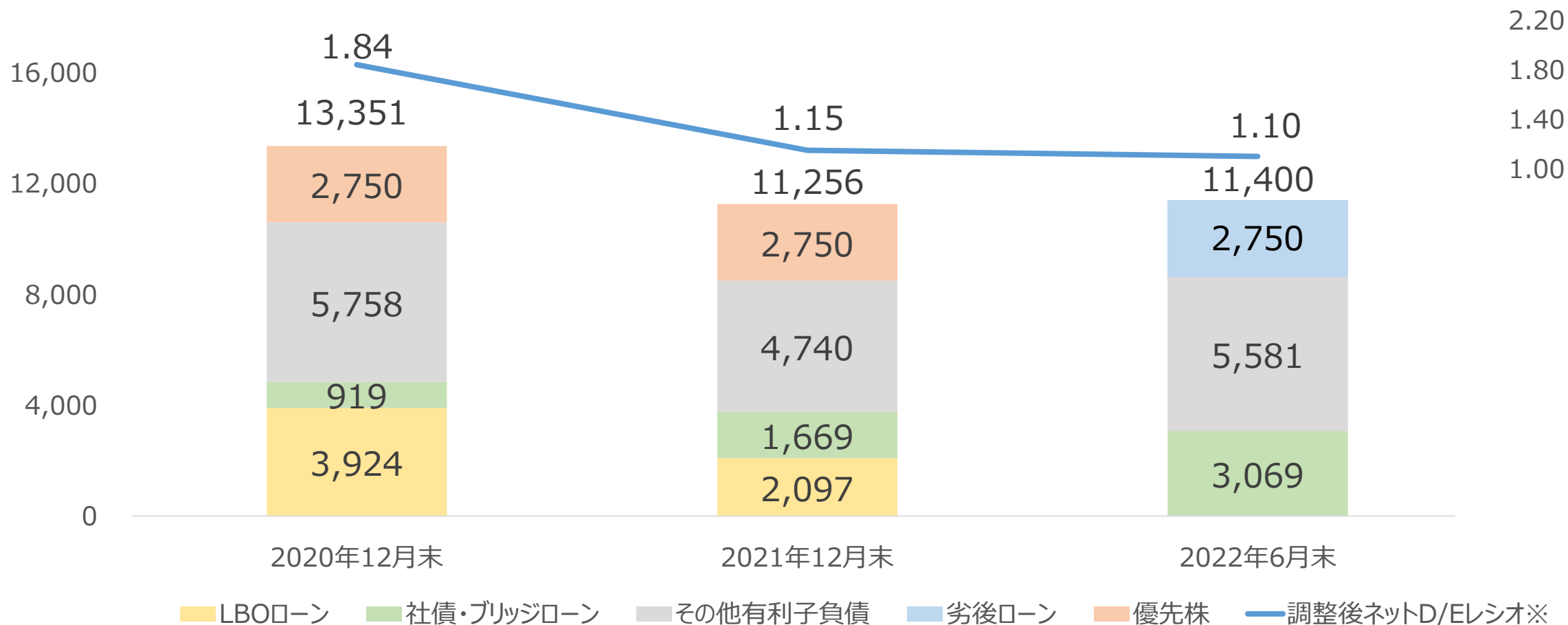
優先株、劣後ローンの50%の資本性は、それぞれ2020年4月21日付、同年4月27日付の(株)日本格付研究所の格付に基づく

# (有利子負債 + 優先株) 残高の推移

## 法人格統合を来年に控え、劣後ローンによる優先株式2,750億円の早期買取を実施

(単位：億円)

(単位：倍)



※ '20/12末・'21/12末：{(借入金+コマーシャルペーパー+社債+リース債務) - 現金及び預金 + 優先株×50%} / (自己資本+優先株×50%)

'22/6末：{(借入金+コマーシャルペーパー+社債+リース債務) - 現金及び預金 - 劣後ローン(借入金に含まれる)×50%} / (自己資本+劣後ローン×50%)

# (ご参考) 開示セグメントの変更 (2022年12月期より)

## <新旧セグメント比較>

新セグメント 旧セグメント	半導体・電子材料	モビリティ	イノベーション材料	ケミカル	その他
石油化学	-	-	-	オレフィン、有機化学品、 合成樹脂	-
化学品	情報電子化学品	-	機能性化学品、 コーティング材料	産業ガス、 基礎化学品	-
エレクトロニクス	HD、化合物半導体、 SiCエピタキシャルウェハー	リチウムイオン電池 (LIB)材料	-	-	-
無機	-	-	セラミックス	黒鉛電極	-
アルミニウム	-	-	アルミ機能部材	-	-
昭和電工 マテリアルズ	情報通信事業 (電子材料、配線板材料)	モビリティ部材 (自動車部品、 LIB用カーボン負極材)	モビリティ部材の一部 (ワニス、機能性樹脂)	-	ライフサイエンス 関連製品
その他	-	-	-	-	その他

【凡例】 事業のポートフォリオ属性

- : コア成長事業
- : 基盤事業 (技術・素材)
- : 安定収益事業
- : 次世代事業

# (ご参考) 連結対象会社、主要諸元

## 連結対象会社 (前期末対比)

連結子会社：123社 (△1社)

+ 1社：昭和電工マテリアルズのセラミック事業譲渡準備会社 新規設立

△2社：昭和電工（大連）清算、黒鉛電極事業スペイン拠点統合

持分法適用会社：13社 (±0社)

## 主要諸元

(期中平均)

項目	2021年 1-6月	2022年 1-6月	2022年 下期予想※
為替レート			
(円/US\$)	107.7	122.9	135.0
	2021年6月期末レート：110.6 2021年12月期末レート：115.0	2022年6月期末レート：136.7	
(円/€)	129.8	134.3	134.0
国産ナフサ (円/KL)	43,250	75,350	81,900

※ 2022年8月4日公表

# (ご参考) 昭和電工マテリアルズ 統合関連費用 (実績・予想)



(億円)

項目	2022年		2021年 通期実績	2022年 通期予想※2	増減
	1-6月実績	7-12月予想※2			
買収後統合費用 (PMI費用※1) (営業費用)	△ 22	△ 53	△ 72	△ 75	△ 3
株式・優先株式取得にかかる 借入金の利息等 (営業外費用)	△ 31	△ 96	△ 80	△ 127	△ 47
優先株配当 (非支配株主に帰属する純利益)	△ 54	—	△ 129	△ 54	75
合計	△ 106	△ 149	△ 281	△ 255	26

※1 買収後の統合効果を最大化するための経営・業務等の統合プロセス関連費用 ※2 2022年8月4日公表



# (ご参考) 連結キャッシュ・フロー (実績・予想)



(億円)

	2021年 1-6月	2022年 1-6月	増減	2022年通期予想		増減	2021年 通期実績
				期初※1	今回※2		
営業キャッシュ・フロー	553	219	△ 334	1,400	1,200	△ 200	1,153
投資キャッシュ・フロー	△104	△ 366	△ 262	△ 1,350	△ 1,000	350	286
フリー・キャッシュ・フロー (営業CF+投資CF)	449	△ 147	△ 597	50	200	150	1,439
財務キャッシュ・フロー	△736	△ 182	554	△ 900	△ 800	100	△ 1,217
その他	91	202	111	0	200	200	146
現金及び 現金同等物増減額	△196	△ 128	69	△ 850	△ 400	450	368

※1 2022年2月14日公表 ※2 2022年8月4日公表

# (ご参考) 設備投資、減価償却費、研究開発費、人員 (連結)



(億円)

	2021年 1-6月	2022年 1-6月	増減	2022年通期予想		増減	2021年 通期実績
				期初※1	今回※2		
設備投資	354	524	170	1,335	1,231	△ 103	786
減価償却費※3	495	455	△ 40	929	927	△ 2	977
研究開発費	237	229	△ 8	481	474	△ 7	468
金融収支	△ 39	△ 33	6	△ 60	△ 131	△ 71	△ 77
有利子負債	9,848	11,400	1,553	8,000	11,000	3,000	8,506
ネットD/Eレシオ (倍)	1.72	1.10	△ 0.62	1.19	1.08	△ 0.11	1.15
期末従業員数 (人)	32,373	26,295	△ 6,078	26,586	26,487	△ 99	26,054
国内 (人)	14,641	12,858	△ 1,783	12,583	12,492	△ 91	12,727
海外 (人)	17,732	13,437	△ 4,295	14,003	13,995	△ 8	13,327
総人件費	1,011	909	△ 102	1,828	1,838	10	1,991

※1 2022年2月14日公表 ※2 2022年8月4日公表 ※3 昭和電工マテリアルズのPPAの結果生じた無形固定資産の償却費含み

# (ご参考) セグメント別設備投資 (実績・予想)

(億円)

セグメント	2021年 1-6月	2022年 1-6月	増減	2022年通期予想		増減	2021年 通期実績
				期初※1	今回※2		
半導体・電子材料	140	243	103	615	581	△ 34	352
モビリティ	53	44	△9	126	99	△ 27	99
イノベーション材料	38	36	△ 2	80	76	△ 4	84
ケミカル	67	96	29	210	203	△ 7	141
その他	56	106	50	304	273	△ 31	110
合計	354	524	170	1,335	1,231	△ 103	786

※1 2022年2月14日公表 ※2 2022年8月4日公表

# (ご参考) セグメント別減価償却費・のれん償却額 (実績・予想)

(億円)

セグメント		2021年 1-6月※1	2022年 1-6月	増減	2022年通期予想		増減	2021年 通期実績※1
					期初※2	今回※3		
半導体・ 電子材料	減価償却費※4	187	196	9	388	385	△ 3	383
	のれん償却額	66	66	0	133	133	0	133
モビリティ	減価償却費※4	92	91	△ 1	165	167	2	185
	のれん償却額	11	11	0	21	21	0	21
イノベーション 材料	減価償却費※4	39	42	3	79	76	△ 2	79
	のれん償却額	3	4	1	8	8	0	7
ケミカル	減価償却費※4	80	84	4	167	170	3	162
	のれん償却額	0	0	0	0	0	0	0
その他	減価償却費※4	52	43	△ 9	130	128	△ 2	120
	のれん償却額	3	3	△ 0	6	6	0	6
合計	減価償却費※4	450	455	6	929	927	△ 2	929
	のれん償却額	83	84	1	168	168	0	168

※1 継続事業ベース(2021年に事業譲渡したアルミ缶・圧延品、食品包装用ラップ、プリント配線板、蓄電デバイスを除いた参考値(監査対象外))

※2 2022年2月14日公表 ※3 2022年8月4日公表 ※4 昭和電工マテリアルズのPPAの結果生じた無形固定資産の償却費含み

## (ご参考) 連結業績の概要 (1Q、2Q対比)

(億円)

項目	2022年 1-3月	2022年 4-6月	増減
売上高	3,080	3,480	400
営業利益	154	217	64
営業外損益	46	52	6
経常利益	199	269	70
特別損益	△ 23	△ 5	18
税金等調整前四半期純利益	176	264	88
四半期純利益	121	253	132
親会社株主に帰属する四半期純利益	84	233	149
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん等償却費)	421	490	69
対売上EBITDA%	13.7%	14.1%	0.4p

# (ご参考) 2021年セグメント別売上高・営業利益 (新セグメントベース)



(億円)

セグメント	項目	2021年				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
半導体・電子材料	売上高	817	947	1,028	1,126	3,918
	営業利益	77	120	120	152	469
モビリティ	売上高	463	432	419	424	1,738
	営業利益	11	△ 1	△ 3	△ 27	△ 20
イノベーション材料	売上高	295	344	381	393	1,413
	営業利益	42	41	34	20	138
ケミカル	売上高	865	1,049	1,131	1,266	4,310
	営業利益	71	121	116	70	379
その他・調整額	売上高	448	244	241	281	1,214
	営業利益	△ 36	△ 53	△ 60	△ 80	△ 229
<b>継続事業ベース※ 合計</b>	<b>売上高</b>	<b>2,888</b>	<b>3,016</b>	<b>3,200</b>	<b>3,489</b>	<b>12,593</b>
	<b>営業利益</b>	<b>166</b>	<b>229</b>	<b>207</b>	<b>135</b>	<b>737</b>
非継続事業	売上高	509	521	383	191	1,603
	営業利益	42	39	36	17	135
<b>総計</b>	<b>売上高</b>	<b>3,397</b>	<b>3,537</b>	<b>3,583</b>	<b>3,679</b>	<b>14,196</b>
	<b>営業利益</b>	<b>208</b>	<b>268</b>	<b>244</b>	<b>153</b>	<b>872</b>

※ 公認会計士監査受査前、2021年に事業譲渡したアルミ缶・圧延品、食品包装用ラップ、プリント配線板、蓄電デバイスを除いた参考値

# (ご参考) 2022年セグメント別売上高・営業利益 (実績・予想)



(億円)

セグメント	項目	2022年			
		1Q	2Q	下期予想※	通期予想※
半導体・電子材料	売上高	1,073	1,130	2,496	4,700
	営業利益	129	139	332	600
モビリティ	売上高	444	423	933	1,800
	営業利益	4	△ 15	△ 18	△ 30
イノベーション材料	売上高	343	357	800	1,500
	営業利益	29	25	66	120
ケミカル	売上高	951	1,295	3,555	5,800
	営業利益	22	109	229	360
その他・調整額	売上高	269	276	655	1,200
	営業利益	△ 30	△ 40	△ 140	△ 210
合計	売上高	3,080	3,480	8,440	15,000
	営業利益	154	217	469	840

※ 2022年8月4日公表

## (ご参考) その他のトピックス

セグメント	トピックス
全社	使用済みプラスチックから基礎化学原料を直接製造するマイクロ波による新たなケミカルリサイクル技術の共同開発を開始
半導体・ 電子材料	半導体用高純度ガス事業で SK Inc.と北米協業検討覚書を締結
	業界最大記録容量26TBニアラインHDD向け 新開発HDメディアの出荷を開始
	次世代グリーンパワー半導体用8インチSiCウェハー開発計画がNEDOグリーンイノベーション基金事業に採択
ケミカル	会社分割（簡易吸収分割）の検討開始に関するお知らせ（黒鉛電極）

\*詳細は各ニュースリリースをご参照ください。

ニュースリリース：<https://www.sdk.co.jp/news.html>

<https://www.mc.showadenko.com/news/japanese>



## 注意事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。

なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、新型コロナウイルス感染症拡大が世界経済に与える影響、国際情勢、ナフサ等原材料価格、黒鉛電極等製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。